

愛媛県ノーリフティングケア 普及啓発モデル事業

社会福祉法人 恩賜財団 済生会松山老人保健施設にぎたつ苑
鎌田尚希(作業療法士)

※写真使用の承諾を頂いています

にぎたつ苑

- 所在地 松山市山西町(松山市の西部)
- 開設 平成4年5月
- 併設 済生会松山病院
- 定員 80床(3フロア、ショート15床)
- 施設区分 **超強化型**(平成30年5月～)

※ICT化・・・電子カルテ(PC56台・タブレット19台)、インカム、グループウェア、LINE、スマホ

医師	1人	理学療法士	4人
相談員	3人	作業療法士	8人
看護	11人	管理栄養士	1人
介護	35人 (介護福祉士30人)	言語聴覚士	1人 (病院兼務)



にぎたつ苑

■ 済生会

総裁 秋篠宮皇嗣殿下

日本最大の社会福祉法人として全職員約
59,000人が40都道府県で医療・保健・福祉活
動を展開(老人保健施設:29施設)

■ 老人保健施設(全国4241施設)

介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭
への復帰を目指すために、医師による医学的管
理の下、看護・介護といったケアはもとより、作業
療法士や理学療法士等によるリハビリテーション、
また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービス
まで併せて提供する施設。

分類

超強化型

在宅強化型

加算型

基本型

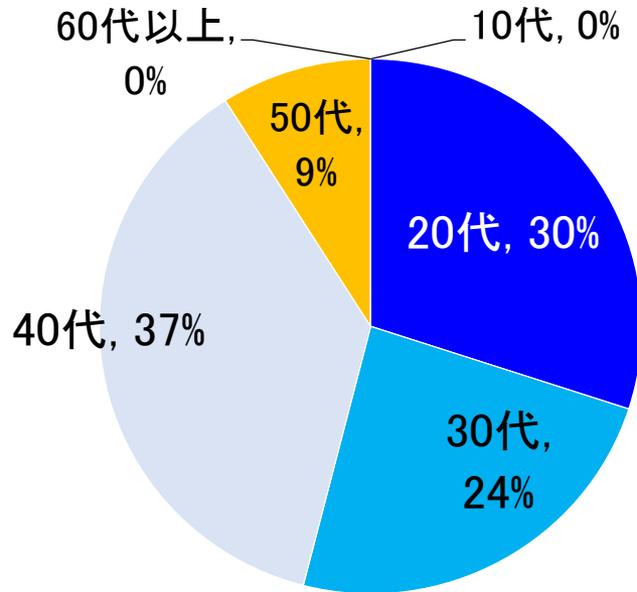
その他



にぎたつ苑

・実施前調査(介護課)

n=33
※産休あり



経験	10年
性別	男3:女7
年齢	37.4才
BMI	18.5~25
腰痛	あり58%

3月以内	3月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上
0%	6%	9%	85%

制服・シューズ支給有



はじめに(これまで)

研修会(外部講師)	ポジショニング、シーティング
説明会(業者)	HAL、SASUKE
低床電動ベッド	80床(うち4床は3モーション)
車椅子	ティルトリクライニング3台 ティルト7台、リクライニング8台 モジュール20台
リハビリ機器	POPO(免荷式歩行リフト)
福祉用具	サポートクッション イージーグライド 移乗介助ベルト
休憩室	ソファ、テーブル席



はじめに(これまでの課題)

- 頻回な入退所(多い日は15人/日)
- 移乗介助、起居動作介助、オムツ交換対象者が多い(要介護3/4/5:75%以上)。
- 夜勤介護職員は一人勤務となる時間が多い(3フロア)。
- なかなか施設にあった機器の導入や、またこれまで導入している器具の活用が効果的に行われていない。
- 業務の偏りがある(腰痛あり・なし、男・女)。

負担の大きい介護場面



目標

施設にあった機器の導入や、またこれまで導入している器具を効果的に活用

業務の偏りをなくす（腰痛あり・なし、男・女）

移乗ボード、シート、リフトなどを各階に導入

要介護高齢者の身体機能に即した介護技術や適した道具・機器を使った介護を提供する

介護者が腰痛など介護業務に不安なく働くことが出来る環境作りを進め、介護を受ける側と介護する側双方の負担軽減と介護の質の向上を目指す

離職防止や介護人材の安定的確保をしながら、生産性向上も同時に目指す



方法

- ・ノーリフティングケア推進委員会
「抱えない介護チーム」

管理者	医師(施設長)	1
リーダー	作業療法士	1
サブリーダー	介護	3
推進委員	介護	12
	理学療法士	2
	作業療法士	1
	看護	1
サポート	相談室	1
	居宅介護支援	1



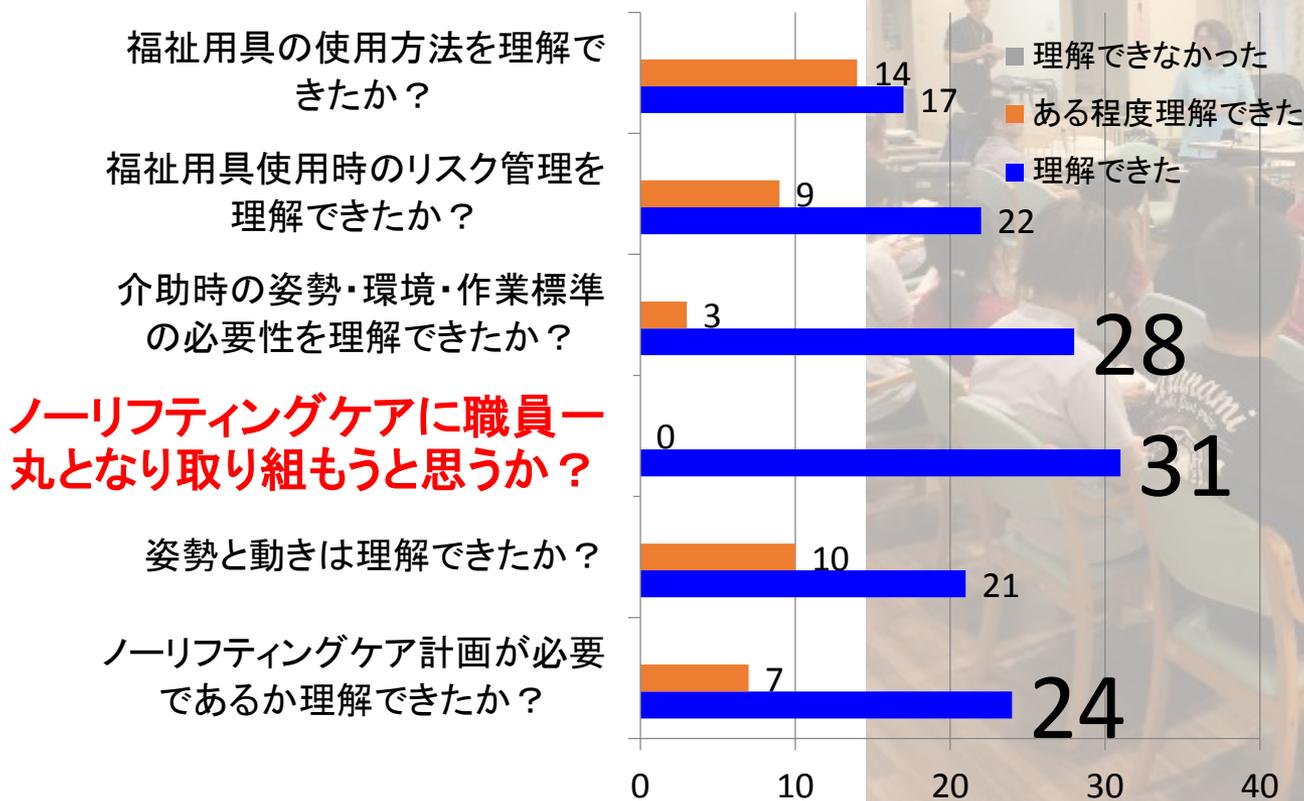
にぎたつ苑の介護の
大きな変革期



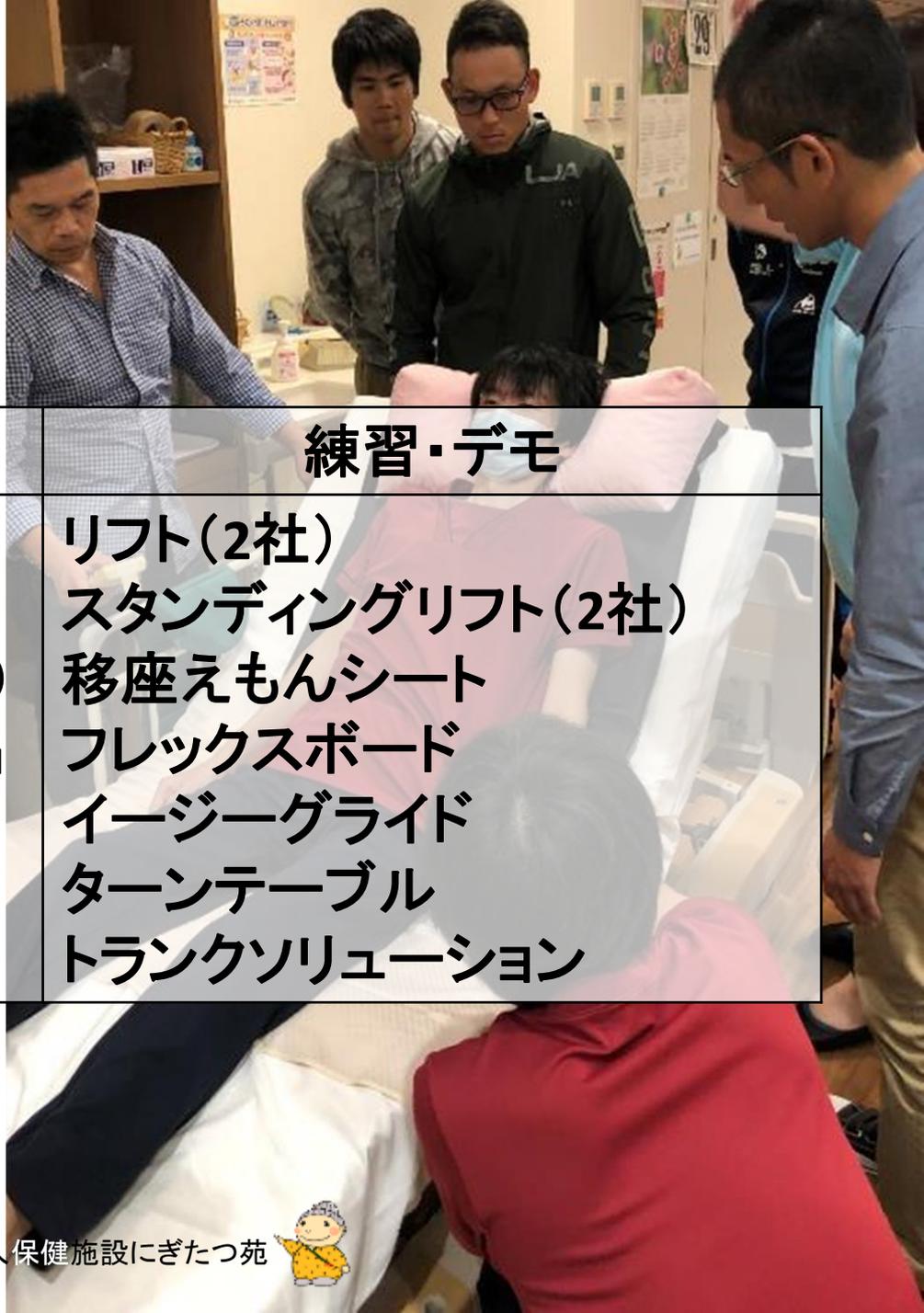
方法

・実施前研修(31名)

R1.7



経過



研修

練習・デモ

県(巡回) 31名
愛媛県老健協議会 6名
リフトリーダー 3名(初級3名)
抱え上げない介護・看護 2名
車椅子選定 1名
オムツ 26名

リフト(2社)
スタンディングリフト(2社)
移座えもんシート
フレックスボード
イージーグライド
ターンテーブル
トランクソリューション



経過

• 福祉機器

	福祉用具	2階	3階	4階	浴室	リハ室	計
1	移座えもんシート S	4	4	4	0	4	16
2	移座えもんシート M	5	5	5	0	2	17
3	ターンテーブル	1	1	1	0	1	4
4	フレックスボード	1	1	1	1	0	4
5	イージーグライド	3	3	3	0	3	12
6	床走行式リフト	1	1	1	0	(1)	4
7	脚分離型シート S/M	2/2	2/2	2/2	2/2	(2/2)	10/10
8	ラクラックス	0	0	0	1	0	1

次年度購入予定

※今まであったもの(低床ベッド80、介助バー34、リクライニング車椅子8、ティルト車椅子7、ティルリク車椅子3、モジュール車椅子20、イージーグライド4)、介助ベルト2、POPOに追加



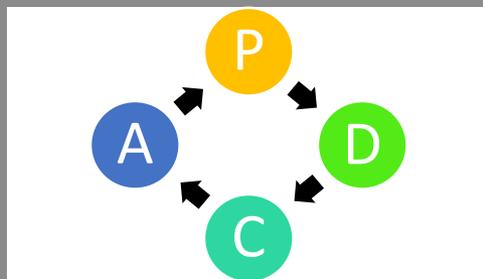
経過



動画マニュアル
(グループウェアで共有)



「これだけ体操」
東京大学 東大病院



チームミーティング
(PDCA)



管理者会議
ケアマネジメント委員会



経過

環境設定

	車椅子			設置場所	
	青	自立			使用時の移動時間 や距離を短縮
	黄	イージーグライド			
赤	リフト、フレックスボード				
	ベッド			食堂	
	大腿部の位置に大きな目印				必ず座って食事介助



経過

難題にぶつかる



浴室

リフトでは更衣介助が困難

電動ベッド、ラクラックスを設置



オムツ

吸収率の高いオムツを活用、正しく装着し、オムツ交換回数を減らす

現在、進行中



トイレ

対象ご利用者に、床走行リフト、スタンディングリフトが合わない

現在、検討中

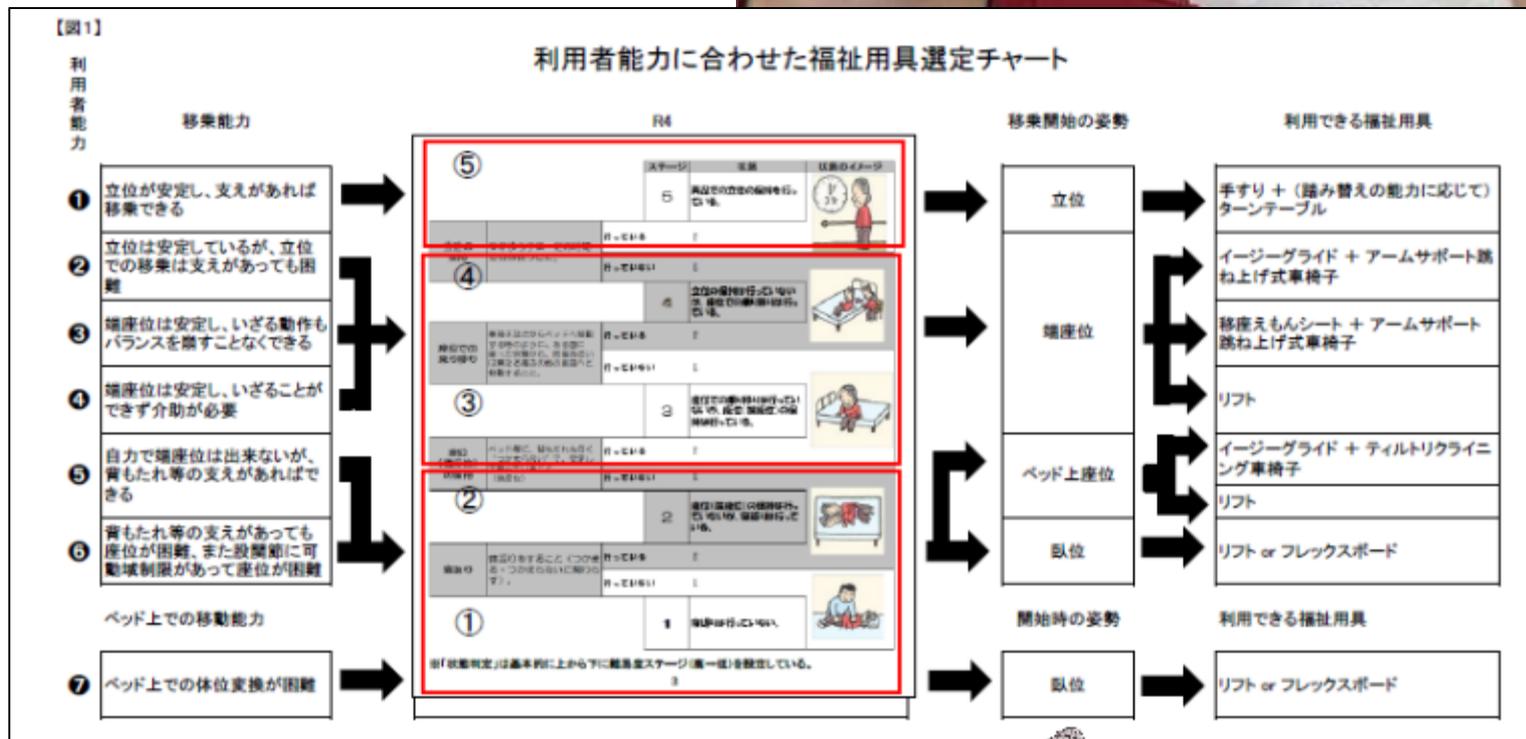


経過

老健として、自立支援・在宅復帰へ

・自立支援の評価

「R4システム」+「福祉用具選定チャート」



経過

老健として、自立支援・在宅復帰へ

- 退所されるご家族へ指導



移座えもんシート

M:¥54/月 L:¥110/月



イージーグライド

¥100/月(1割)



床走行式、固定式リフト

¥1,600~1,800/月(1割)



脚分離型シート

購入(¥42,000~52,000)



済生会松山老人保健施設にぎつつ苑

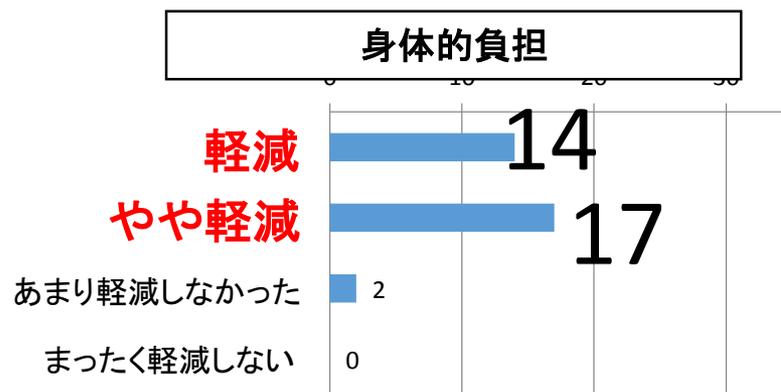
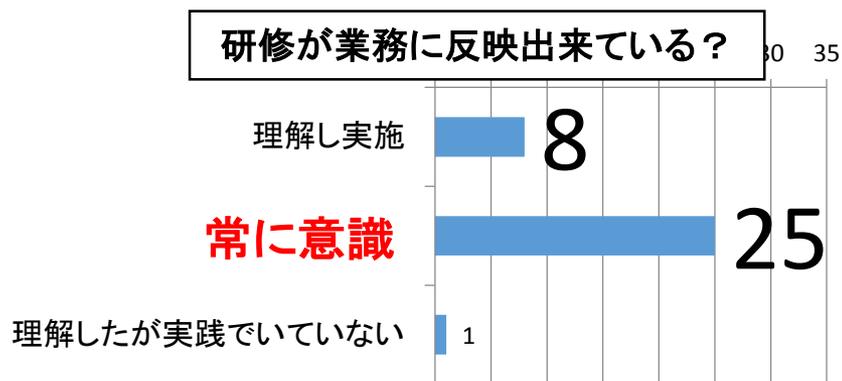
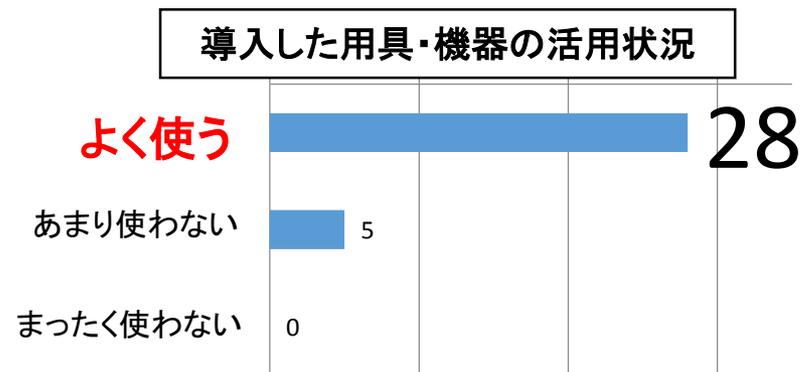


結果

導入した機器を活用し、負担が減った

・実施後調査

R2.1

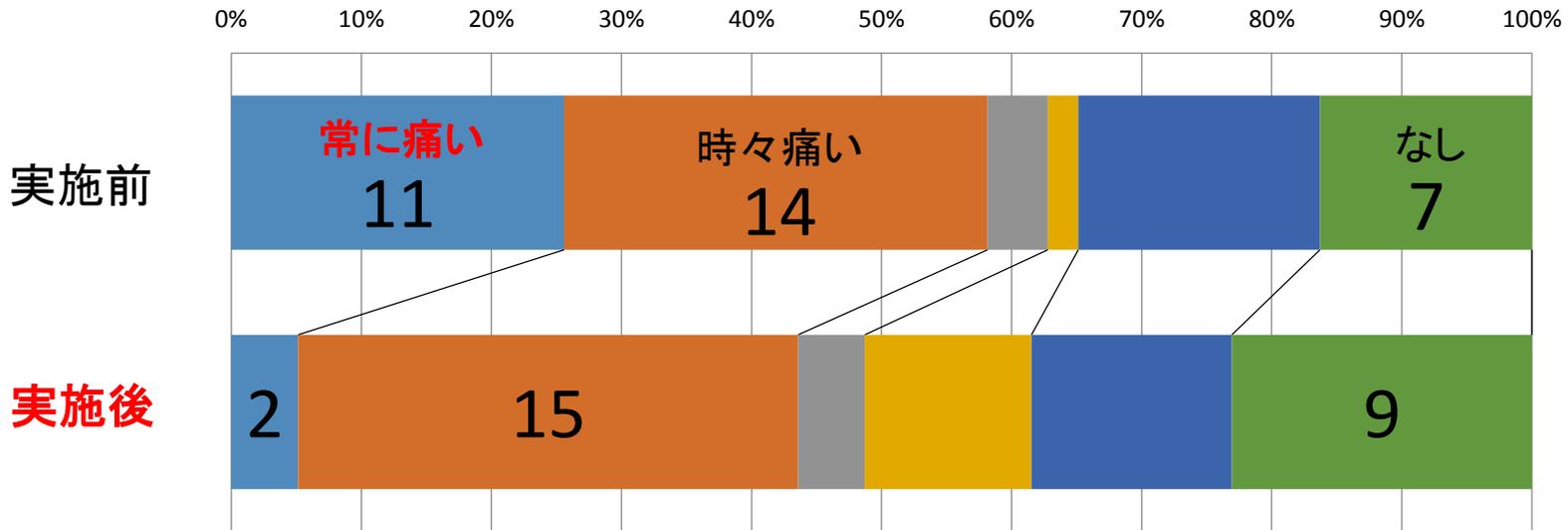


結果

腰痛減少

・実施後調査

腰痛状況



■ あり(常に痛い) ■ あり(時々) ■ 以前あり(再発あるが現在治癒) ■ 以前あり(再発なし) ■ なし(腰が重い) ■ なし



結果

目標達成

移乗ボード、シート、リフトなどを各階に導入	→導入
要介護高齢者の身体機能に即した介護技術や適した道具・機器を使った介護を提供する	→ケアプランに組み込み提供
介護者が腰痛など介護業務に不安なく働くことが出来る環境作りを進め、介護を受ける側と介護する側双方の負担軽減と介護の質の向上を目指す	→介護の質の向上
離職防止や介護人材の安定的確保をしながら、生産性向上も同時に目指していく	→腰痛を起因とする退職なし、ICT併用



課題と今後

- トイレ
- オムツ
- 通所リハビリ、通所介護など他事業所
- 作業姿勢
 - 介護以外の業務(看護・リハ・事務)
- ホームページ
- 普及活動(学会・大会発表、見学対応)
- 介護ロボット



まとめ

- ケアの内容を見直し、業務や環境を改善
- ご利用者と職員双方の安心・安全
- 施設や利用者にあった機器や用具を導入し、導入している用具や機器を効果的に活用
- 業務の偏りの減少
- **ご利用者の自立支援に活用**





ご清聴ありがとうございました



rihabiri@nigitatsu.saiseikai.or.jp

<http://nigitatsu.saiseikai.or.jp>



済生会松山老人保健施設にぎたつ苑

